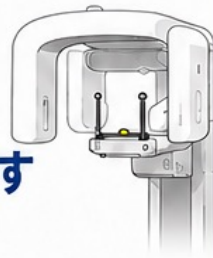
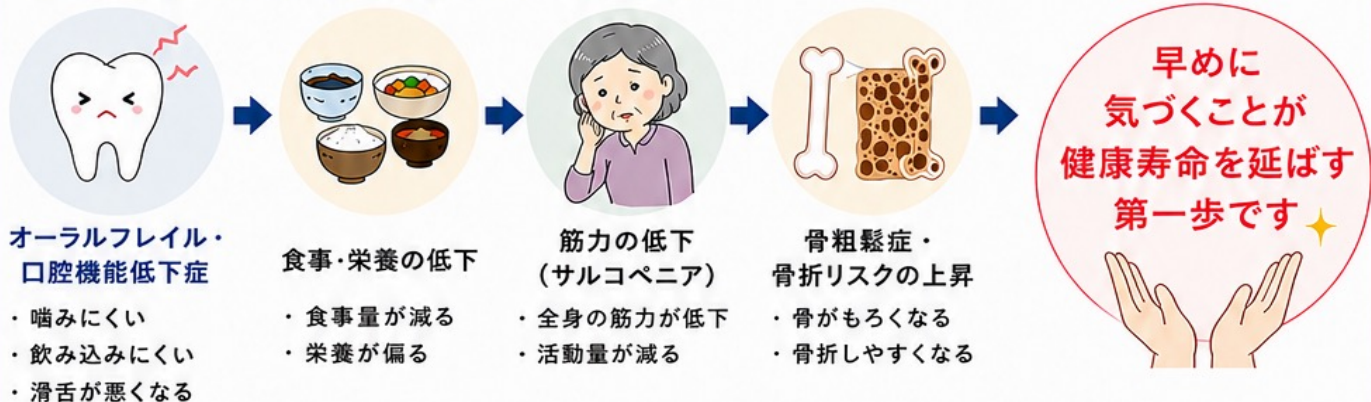


# お口の健康チェックから、 骨粗鬆症のリスクも確認できます

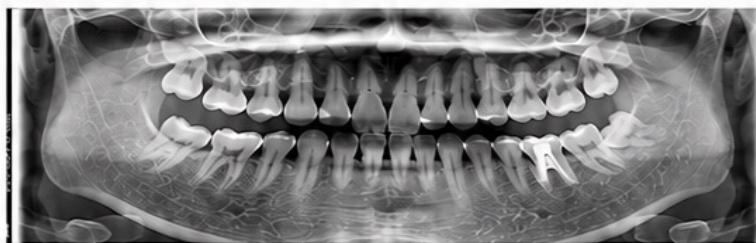


当院では、オーラルフレイル・口腔機能低下症の評価の一環として、  
パノスコープ（AI解析）を活用しています。

お口の衰えが、全身の健康につながります



## パノスコープ（AI解析）でわかること



### 下顎皮質骨の画像解析結果

#### 皮質骨形態

正常

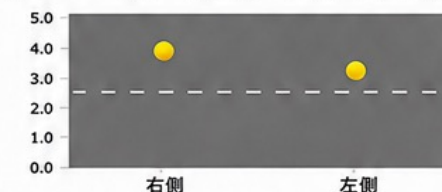
骨形態指数値：28 /100

解析結果の印刷

紹介状の印刷

#### 皮質骨の厚さ

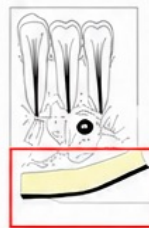
厚さ (mm) 右側：4.2 mm 左側：3.2 mm



#### 皮質骨の形態指標

形態指標：I 型

両側皮質骨の内側表面はスムーズです。



## 当院での流れ

パノラレントゲン撮影



AI解析  
（パノスコープ）



結果をご説明



必要に応じて  
医科へご紹介



お口から全身の健康をサポート



パノスコープは骨粗鬆症を確定診断する検査ではありません。

顎の骨の状態からリスクを評価し、早期発見・早期受診につなげるための検査です。  
結果に応じて、医科の医療機関をご案内します。



お口の健康から、全身の健康を守る。それが、これからの歯科医療です。



たかお歯科  
口腔機能クリニック  
TAKAO DENTAL & ORAL FUNCTION CLINIC

# お口の健康チェックで、 骨粗しょう症を 歯科で早期発見!

早めの気づきが、骨折を防ぐ第一歩です



## パノスコープとは?

お口のレントゲン写真で、  
あごの骨の状態を調べる  
ことで、骨粗鬆症のリスクを  
確認することができます。



### 1 オーラルフレイル お口の小さな衰え

食べこぼす・むせやすい・滑舌が悪くなる など



### 2 口腔機能低下症 お口の機能が低下した状態

かむ・のみこむ・話す力が落ちる状態



### 3 フレイル (骨粗鬆症含む) 心身の活力が低下した状態

筋力や体力が落ち、骨も弱くなりやすい



### 4 転倒しやすい ふらつきやすい状態

筋力やバランスが低下し、転びやすくなる



### 5 骨折のリスクが高くなる わずかな転倒でも骨折しやすい

背骨・足のつけ根・手首などを骨折しやすい

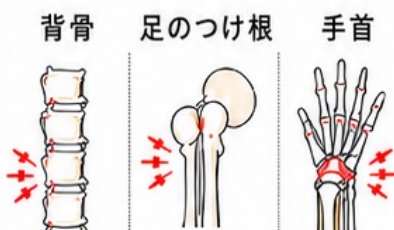


## 骨粗しょう症とは?

骨の量が減り、  
骨がもろくなって  
折れやすくなる  
病気です。



## 骨折しやすい主な部位



## 骨折を防ぐために、 今日からできること

運動を  
続ける



バランスの  
よい食事



日光を  
浴びる



早めの  
チェック



パノスコープは骨粗しょう症を確定診断する検査ではありません。  
必要に応じて医科受診をご案内します。



たかひわ歯科  
口腔機能クリニック  
TAKAIWA DENTAL & ORAL FUNCTION CLINIC